

2013年10月18日

## 平成 25 年度航空機事故消火救難総合訓練（第 32 回）の実施について

成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が一体となった各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図ることを目的として、下記のとおり消火救難総合訓練を実施します。

### 記

#### 1 訓練の概要

日時：10月24日（木）13:45～15:45

場所：成田国際空港内 整備地区エプロン及び第1旅客ターミナル28番バスゲート

主催：千葉県

主催：成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、成田国際空港株式会社

2 参加機関、人員等 63 機関、約 1,200 名、約 300 台の緊急車両等

3 提供航空機 デルタ航空 B757 型機

#### 4 本訓練の特徴

本訓練は、従来までの訓練内容を踏襲しつつ、より実践的な訓練といたします。特に今年度の新たな試みとして、デルタ航空の協力を得て、第1旅客ターミナル28番バスゲートに被災者一時収容所を設け、無傷者および軽傷者のケアを行ないます。なお、本訓練の重点項目は以下の4点といたします。

- 航空機周辺の状況把握及び適切な消防車両の接近
- 無傷者及び軽傷者のケアを実施する被災者一時収容所の設置運用
- 医療救護活動における傷病者の処置に関する適切な優先順位の決定

（トリアージシートの活用）

- 現場調整所と合同対策本部の連携及び的確な意思決定

5 台風等荒天による中止の判断は、当日の10:30に行います。